

令和6年度第6回  
大阪府市公立大学法人大阪評価委員会  
議事要旨

- 1 日時 令和7年2月7日（金）午後1時30分～午後2時45分
- 2 場所 大阪府庁本館5階 議会特別会議室（大）
- 3 出席委員（会場出席）浅田委員長、青木委員、網代委員、海崎委員、槇山委員、  
水谷委員  
（Web出席）中島委員

4 議事概要

（1）公立大学法人大阪第2期中期計画（案）について

- ・ 事務局より、資料1-1、1-2に基づき、第5回評価委員会の審議をふまえた「第2期中期計画（案）の変更内容」について説明があり、その後、計画に関する審議が行われた。
- ・ 事務局より、資料1-2の28ページ以降に記載された見込み金額について精査中である旨の説明と、確定後に書面審議を行うことについて説明があった。
- ・ 事務局より、資料1-4「意見書（案）」について説明があった。
- ・ 以上をふまえ、計画（指標）の修正、見込み金額の精査の結果を踏まえて、意見書について、書面審議を行うことについて、了承された。

（2）公立大学法人大阪に係る業務実績評価実施要領の改正について

- ・ 事務局より、資料2-1に基づき、「中期目標期間等に係る業務実績評価実施要領の改正」について説明があり、その後、実施要領の改正に関する審議が行われた。

<主な意見>

（1）公立大学法人大阪第2期中期計画（案）について

○第1 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

- ・ 3 研究に関する目標を達成するための措置

（委員）研究の項目に、チャレンジ指標が再掲されることで、法人の取組が評価につながるため、いいのではないかと思う。「国際力の強化」は、教育にも研究にも幅広く関わるため、再掲が多ければよいというものでもないため、指標のうち2点を選んだというのはよいことだと思う。

・5 医学部附属病院等に関する目標を達成するための措置

(委員) 指標【16-2】【16-3】を具体的に書いていただいたことで、中期計画の具体性もわかるようになり、評価する際に何に注目して評価すればよいのかが明確になって、適切な表記にさせていただいたと思う。一方で、指標【16-1】について、病院の経営指標4つが挙げられている。大学病院の臨床能力や経営状況をもう少し包括した定性的な指標にした方が、他の2つの指標と粒度が揃うのではないかと。

(法人) 前回の評価委員会の指摘をふまえ、指標【16-2】【16-3】を検討している中で、指標【16-1】について、粒度が異なるという意見は出ている。修正を認めていただければ、再度検討し、修正させていただきたい。

(委員) 評価委員会のスケジュールとして検討が可能であれば、検討いただきたい。

○第6 予算、収支計画及び資金計画／以降の内容

(委員) 自治体の予算が単年度会計である中、6年間の見込みを記載するという点は、制度上、難しいところもあると思う。現在、できる限り、精査中とのことなので、確定後にお示しいただきたい。

○公立大学法人大阪第2期中期計画(案)に関する評価委員会意見書(案)について

(委員) 認可が適当であるという意見に加え、法人と設立団体がコミュニケーションをとり良い関係で取組を進めていただきたいと考えている。森之宮キャンパスの整備など、設立団体としても意欲的に法人の取組を発展させようとしている。法人、設立団体の双方の取組を進めていただくような意見を記載したい。

(2) 公立大学法人大阪に係る業務実績評価実施要領の改正について

(委員) チャレンジ指標が重要な指標として位置づけられている。評価委員会としても評価が難しい部分もある。評価にあたっては、引き続き、チャレンジ指標を含めた取組の進捗を丁寧に見ていく必要がある。実施要領についても、現時点ではこの内容とし、今後、必要に応じて見直していく必要がある。

以上